

令和6年度 山形県青年の家主催事業「未来を守る青少年防災フォーラム 2024」

1 目的

東日本大震災から13年が経過した今年1月、能登半島地震が発生した。地震だけではなく、近年では全国各地で豪雨災害が発生するなど、自然災害の激甚化が進んでおり、ここ山形県でも例外ではない。日本全国において災害の発生が懸念される災害大国日本において、次世代を担う若者の防災意識と社会参画意識の育成が急務である。地域社会の未来の担い手である青少年に、対話と実践を通し「助けられる」から「助ける」への意識の転換を図る。

2 主催 山形県青年の家

3 対象 県内の中高生、大学生、ボランティアサークル指導者、福祉関係者、地域防災関係者など 定員50名程度（応募多数の場合は人数調整させていただく場合があります）

4 会場 山形県青年の家（天童市小路一丁目7-8）

5 期日 令和6年9月15日（日）

6 講師 宮城教育大学 311 いのちを守る教育研修機構協力研究員 東北大学非常勤講師 元宮城県石巻西高校校長 齋藤幸男 氏

7 内容・日程

9:00～ 9:30 受付開始（ロビー）

9:30～ 9:40 オープニング

9:40～14:30 ワークショップ「災間を生きる君たちへ～希望は絶望のど真ん中に生まれる～」
（12:00～13:00 昼食休憩）

14:30～15:30 「心のレジリエンス～コロナ禍で失ったもの、見つけたもの～」

15:30～16:00 若者からのメッセージ

「災間を生きる者として～命と向き合い、命をつなぐ防災～」

16:00～16:15 振り返り

16:15～16:30 クロージング

補足 高校の教育課程で地理総合が必修科目になったことを受けて、方法論としてのアクティブラーニングがさらに必要となってくると思われる。今回のワークショップはこのような背景をふまえて実践するものであり、各学校における防災教育や教科の授業にも生かせるように工夫されている。

8 参加費 490円（昼食代、保険料）

9 持ち物 筆記用具、内履き、スマホやタブレット端末、イヤホン

※ 青年の家のwi-fiを利用し、動画視聴の場面があります。

10 申込 高校の場合は、学校ごとにとりまとめ、別紙申込書に記入（入力）のうえ、FAXまたはメールで申し込んでください。それ以外は個人で申し込みとなります。チラシのQRコードから申し込んで下さい。〔締切9/2（月）〕

11 その他

(1) 当日撮影する写真は、HPに掲載したり記録用資料として活用させていただいたりすることがあります。承諾できない場合はお申し出ください。

(2) 9月9日（月）午後5時以降のキャンセルは、昼食代・保険料を実費で負担していただきます。

〔連絡先〕 山形県青年の家
担当：研修課長・主任社会教育主事
齋藤 裕輝
TEL：023-654-4545
FAX：023-652-2007
E-mail：saitoyuki3@pref.yamagata.jp